



今から3年後の2019(平成31)年に、茨城県で第74回「国民体育大会」が開催されます。このコーナーでは今月号から毎月、国体に関するさまざまな情報をお伝えしていきます。地域一体となって、茨城国体を盛り上げていきましょう!

【「国民体育大会(国体)」とは?】

「国民体育大会(国体)」は、昭和21年、京都府を中心とした京阪神地方で開始され、都道府県持ち回りで毎年開催されている国内最大のスポーツ大会です。都道府県対抗方式で行われ、男女総合優勝である「天皇杯」と、女子総合優勝である「皇后杯」獲得を目指し、都道府県代表の選手たちが熱戦を繰り広げます。

「東(北海道・東北・関東)」、「中(北信越・東海・近畿)」、「西(中国・四国・九州)」の3地区の輪番制で開催され、昭和63年第43回大会(京都府)から2順目となっています。

【実施競技は?】

- ▼正式競技(37競技)…都道府県対抗で実施され、得点の対象(天皇杯・皇后杯対象競技)となります。
- ▼公開競技(5競技)…都道府県代表の参加により中央

競技団体主導で開催するもので、都道府県対抗の得点対象とはなりません。

- ▼特別競技(1競技)…毎年開催される高等学校野球のことで、都道府県対抗の得点対象とはなりません。
- ▼デモンストレーションスポーツ…県内在住の方が対象で、県・会場地市町村・県競技団体等が合意した種目を行います。都道府県対抗の得点対象とはなりません。

【第74回「国民体育大会」の愛称など】

大会愛称▼いきいき茨城ゆめ国体2019(前回開催の第29回大会のテーマは「水と緑のまごころ国体」)

スローガン▼翔べ 羽ばたけ そして未来へ

イメージソング▼「そして未来へ」(作詞・作曲：兒玉香さん、歌：磯山純さん)

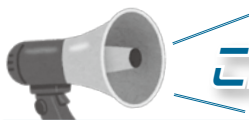
【東海村はどのようにかわるの?】

正式競技の一つであるホッケーが県立東海高等学校と阿漕ヶ浦公園において開催されます。また、笠松運動公園では、総合開・閉会式のほか、陸上や水泳の一部が行われます。



詳細はホームページへ!

【問い合わせ】生涯学習課国体推進室(☎282-1711 内線1423)



こちらは、防災とうかいです

Vol.8

地域で支え合い、助け合うために

災害が発生したときに、一人でも多くの避難行動要支援者の生命を守るため、村では自治会と協定を締結し、自力での避難が困難な方を支援する取り組みを進めています。

【「避難行動要支援者」とは?】

「避難行動要支援者」(以下「要支援者」とは、避難所への移動等に周囲の支援を必要とする高齢者や障がい者のうち、家族等の援護が得られない、在宅で暮らす方をいいます。村では、「地域の支援者」である自治会や民生委員・児童委員等と、要支援者の情報を共有し、地震や津波、大雨、台風等の自然災害が発生したときには、これら支援者が要支援者の安否確認や避難誘導等を行うこととしています。

【「地域の支援者」の役割】

- ▼災援リーダー(自治会長)…避難支援のリーダーとなり、村との連絡・調整窓口を務めます。

- ▼安心サポーター…要支援者の隣近所に住んでいる方で、災害時には▽避難勧告等の災害情報の伝達▽安否確認▽避難誘導や避難所への付き添い、搬送等の避難支援▽災援リーダーへの避難状況の報告——をすることが主な役割です。要支援者1人につき2人程度の安心サポーター、または班内の複数の協力者が支援します。

- ▼災援コーディネーター(民生委員・児童委員)…「地域の支援者」に要支援者の状況を報告したり、自治会や安心サポーター、要支援者間の調整を務めます。

村では、引き続き「地域の支援者」からの協力を得ながら、要支援者の避難支援に関する取り組みを進めていきます。詳細は、介護福祉課高齢支援担当(☎282-1711 内線1164)へお問い合わせください。

【問い合わせ】

防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(☎282-1711 内線1524)